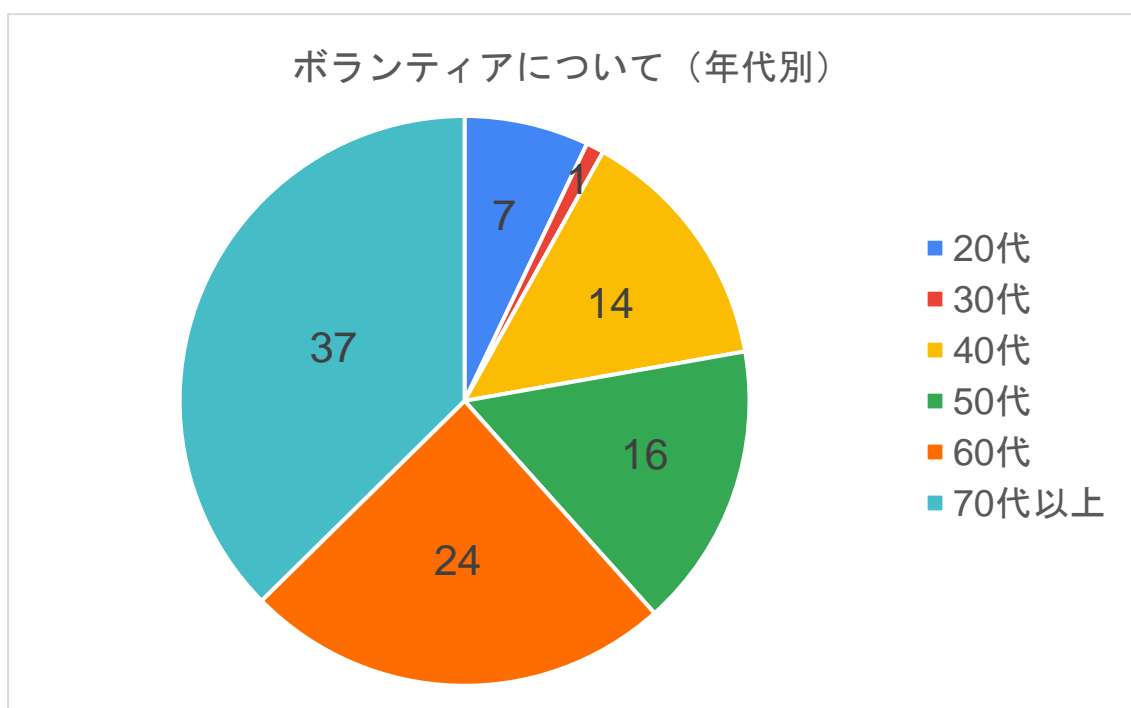
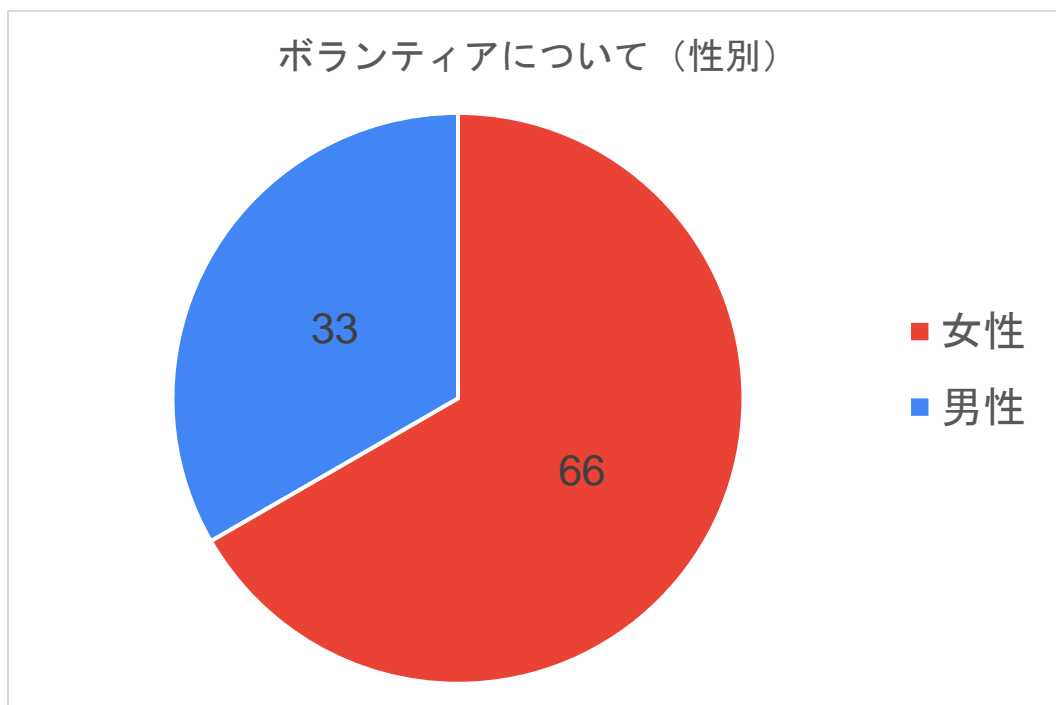


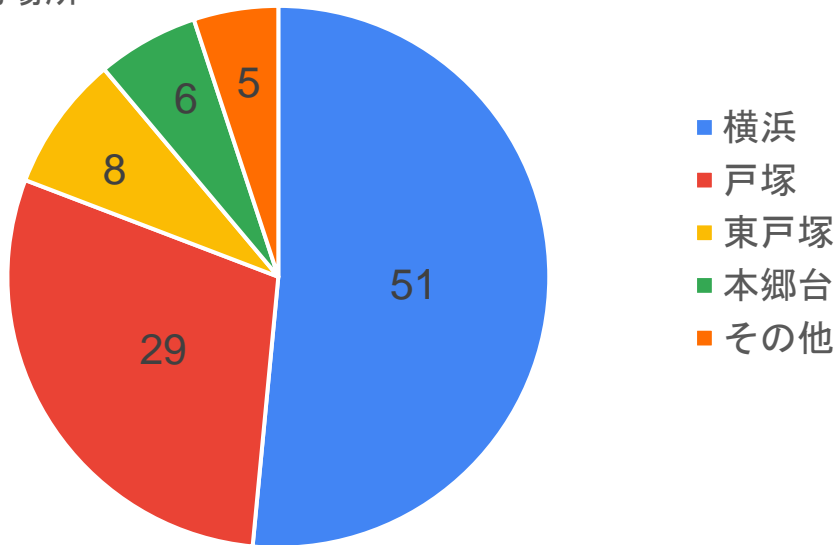
ユッカの会 活動状況アンケート

3月からの活動休止期間の状況について、6/7にボランティア対象アンケートを依頼（依頼数188件）。
回答〆切は6月末。99件の回答があった。

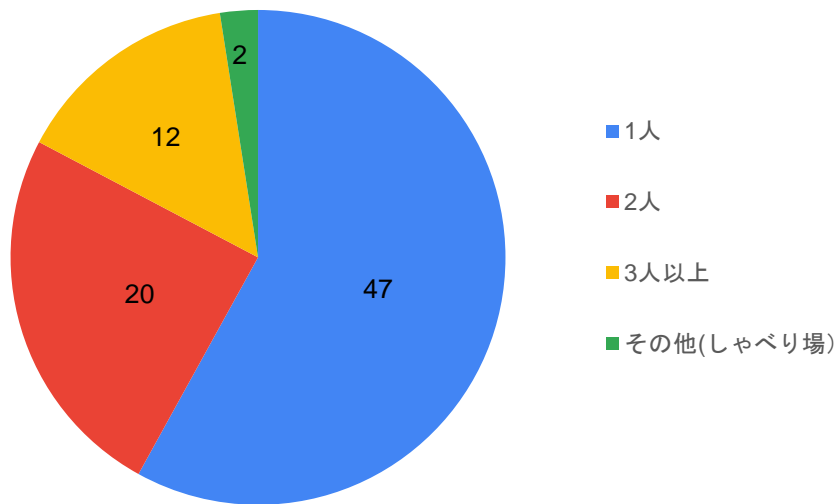
【1】ボランティアについて



活動場所

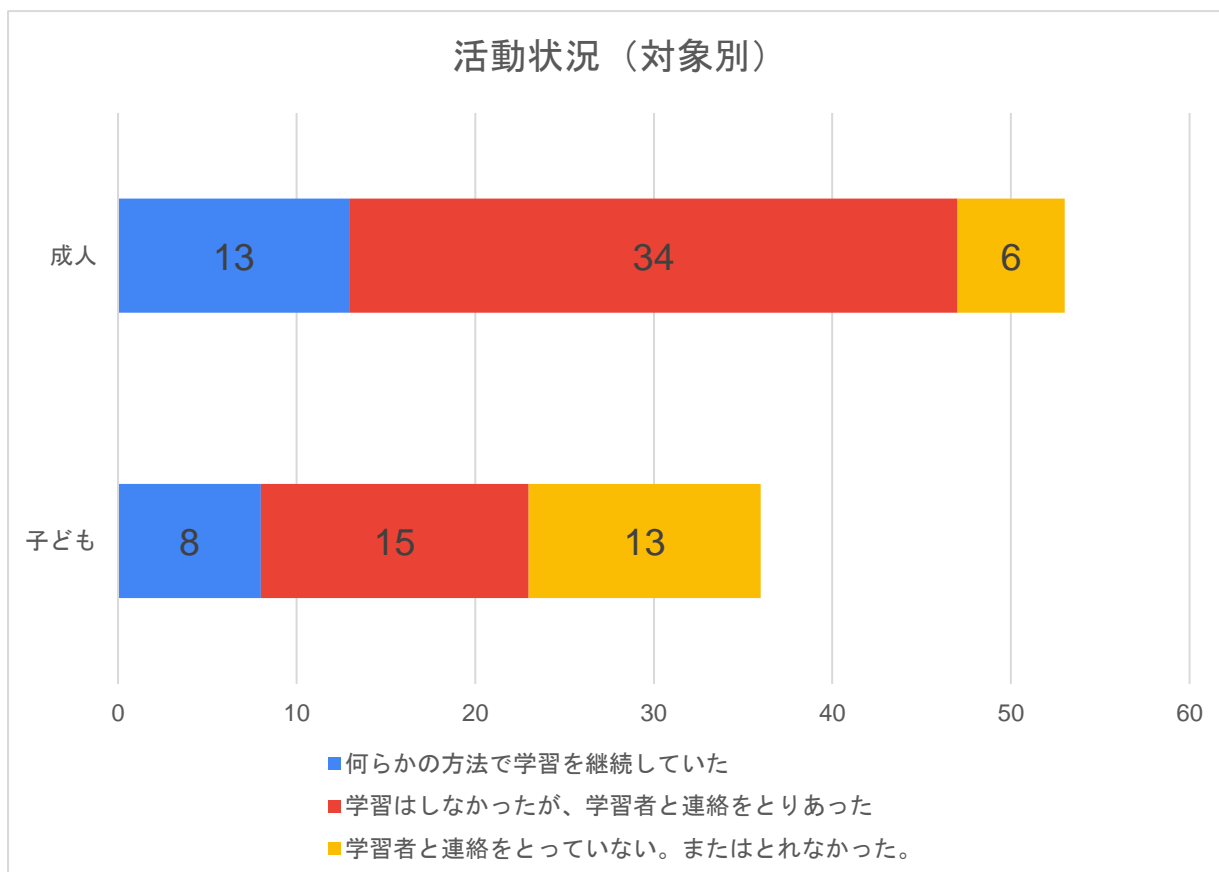
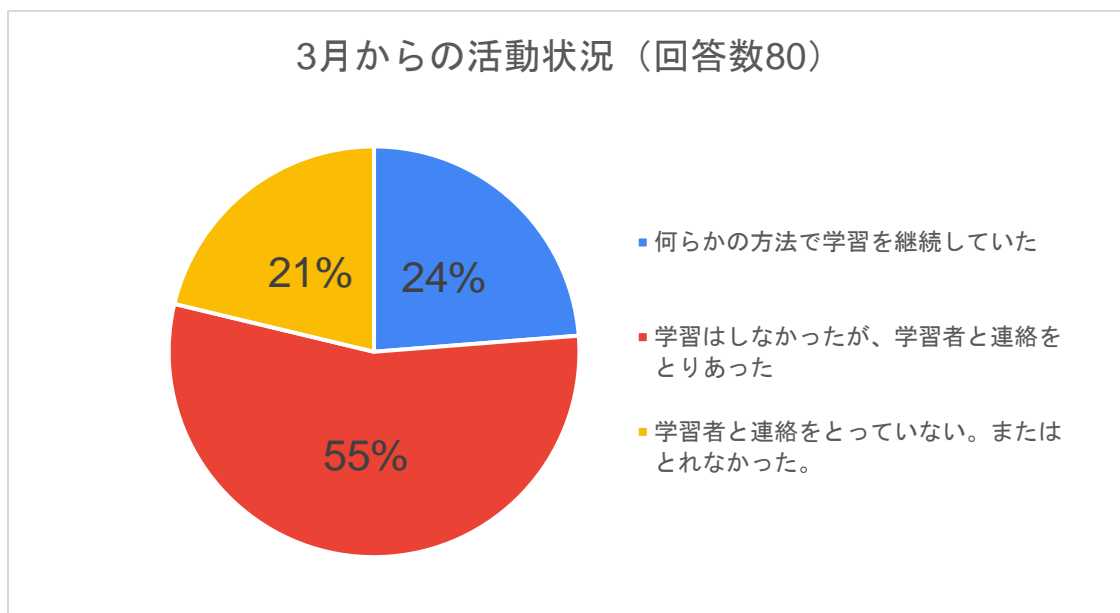


担当学習者数



3人以上：4名、5名、7名（回答の対象となっている学習者数は、約130名）

【2】3月からの活動状況について



*成人も子どもも担当されている方は両方でカウント

●学習を継続していた方：学習の頻度と方法

<方法>オンラインツールの利用（Zoom、skyp、メール、LINE ビデオ通話、メール、テレビ電話）

教材やドリルなどを郵送でやりとり、往復はがき

問題を渡し電話で答え合わせ、作文の添削

<頻度>通常通り週1～2回程度：11件、休止期間中数回程度：3件、期間中1，2回：3件

<個別の回答>

- ・ ZOOM で継続した学習者、ZOOM を試したが成功せず、一旦中止となった学習者、たまに電話連絡している学習者もいる。休止中の学習者もいる。（複数担当しているボランティア）
以上4名とも、状況が改善した時点で対面での学習再開を予定。
- ・ 当初、email で新型コロナウイルス感染症に関する語彙などを教えるとともに健康状態などをお尋ねしていましたが、最近ほとんど連絡をとっていません。
- ・ Skyp で週1回学習していた。合わせて情報提供もした。
- ・ LINE ビデオ通話で各学習者と1から2回くらい
- ・ 対面で学習していた時と同じで、Line で毎週土曜日の午前中1.5時間、もう一人とはSkypで1.5時間、金曜日の午前中Lineで1.5時間学習しています。双方が同じ教材をもって学習しています。新聞記事などをカメラで写して伝送し学習している学習者もいます。
- ・ Skype 週1回学習（但し、1人の学習者のみ）
- ・ 1人は郵送にて往復3回ほど。1人はLineにて質問のあった問題を回答する形で2回ほど。
- ・ 郵送で教材を送り、確認問題などで少しずつ行っています。。
- ・ 2名の学習者のうち1名とは自宅が近いので、作成した問題を近所のドラッグストアで渡し、電話で答え合わせをしている。もう1名とは学習は中断、コロナ関係の情報のやりとり、個人的な質問に答える形でメールで連絡をとりあっている。
- ・ 2人の内1人は作文を添削している。
- ・ テレビ電話で学習支援（主に宿題）を週2回程度。
- ・ ぶりんと教材を送り電話で
- ・ 教材と往復はがきを1回ずつ送付しました。
- ・ 中学2，3年の教科書ガイドと教科書問題集を自習するようにてわたした。渡した教材とは別に再度問題をプリントし回答を記入して返送するようにした。私宛封筒（切手貼り）をわたした。後日採点して郵送し本人に答えを確認するようにした。
- ・ Skype で毎日曜日 10:00~11:30 ゴールデンウィーク中3日間21:00~20:00
- ・ 週1回 5月までは連絡を取り合うのみ、6月からはSkypeで学習を始めました。
- ・ LINE のビデオ通話で、週に0~2で1~1.5時間。教材のコピーを家のポストに投函。
- ・ 1度だけだがzoomを利用して学習。学校再開時の準備などもサポートした。
- ・ LINE のテレビ電話機能を利用して週に1回2時間学習していた。

●学習はしなかったが連絡を取り合った方：連絡の頻度と方法

<方法>手紙、メール、line、微信、ショートメールなどを利用

<頻度>1, 2回、週1くらい、2週間に1回、月1回、適宜情報提供、頻繁に

<個別の回答>

- ・二回ほどLINEで給付金の情報を生徒の親に伝えている。同時に生徒の状況も確認した。
- ・Lineで連絡を取っています。新型コロナに感染していないか、元気か、日常生活で困ったことはないか？健康状態(元気で過ごせているか？)薬はちゃんと服薬しているか？病院診察は、忘れずに通院しているか？学習者からお喋りしたいからと電話を貰う。
- ・週1回くらいメールで相互に近況報告。時々、聞きたいことがあれば質問してくる。
- ・活動休止初期に一度訪問、2週間に1回程度メール、ラインビデオ通話。情報を伝える
- ・時折(2週間に一回ほど)連絡を取り様子を聞いていた。
- ・5月に学習者夫妻にご子が誕生。3月以降、その報告等含め連絡を取り合っています。
- ・月に2回くらい活動場所の使用可否を確認して、ご本人達とメール連絡。使用OKになり次第再開することにしています。お互いにコロナに罹らない注意しましょう！とエール交換してます。
- ・頻繁にメールで元気を確認。月1外で短時間会う。
- ・会の活動中止についての連絡を行った。
- ・給付金についての多言語情報を提供した。
- ・ユッカの会の整理教材について希望があるか手紙で連絡し、電話で確認。
- ・月1回程度、次の月のユッカの会の方針・見通しを説明した。特別定額給付金に関するユッカの会の注意喚起文書をラインの添付で送付した。
- ・月1回程度電話・メール・ショートメールで連絡。
- ・一度ラインで今後の学習について連絡をとり、取敢えず8月末までは学習中止、変化があった場合には又連絡、という事と致しました。学習者本人そして御家族の方々は皆元気で、本人も塾のオンライン授業等で頑張っているようでした。
- ・ラインで学習状況を尋ねたり、自習を促していた。昨日から、オンラインで補習を始めた。
- ・3月初めに授業中断についてCメールで取り決めました。5月下旬に自粛解除後の授業についてCメールでやりとりを行い、当面授業を見合わせることにしました。
- ・ユッカからメールが届く都度、伝達に加え、近況を尋ねて、いつでもLINEを下さいと伝えています。
- ・学習者が帰国しているため3週間に1回くらいメールで近況を尋ねた。
- ・2、3週間に1度くらい、ユッカの会からいただいた情報やお互いの近況についてメールで共有した。学習者から自習で出た疑問点についてメールで質問があり、やり取りをした。
- ・数回メールでやりとりした。
- ・生徒さんが高校に受かった際に連絡とりました。高校入って落ち着いたら数学やりましようと言うことになっていましたが、コロナの影響で行っておりません。
- ・LINEにて連絡。ユッカの会から連絡事項が来た時や、給付金やコロナの相談で多言語や、やさしい日本語での解りやすいサイトを見つけた時など、お知らせ。ただ、あまりLINEを見られる学習者さんではないので、なかなか情報がすぐには届きません。(送ってもなかなか既読が付かない)
- ・2回LINEで活動について相談の連絡。

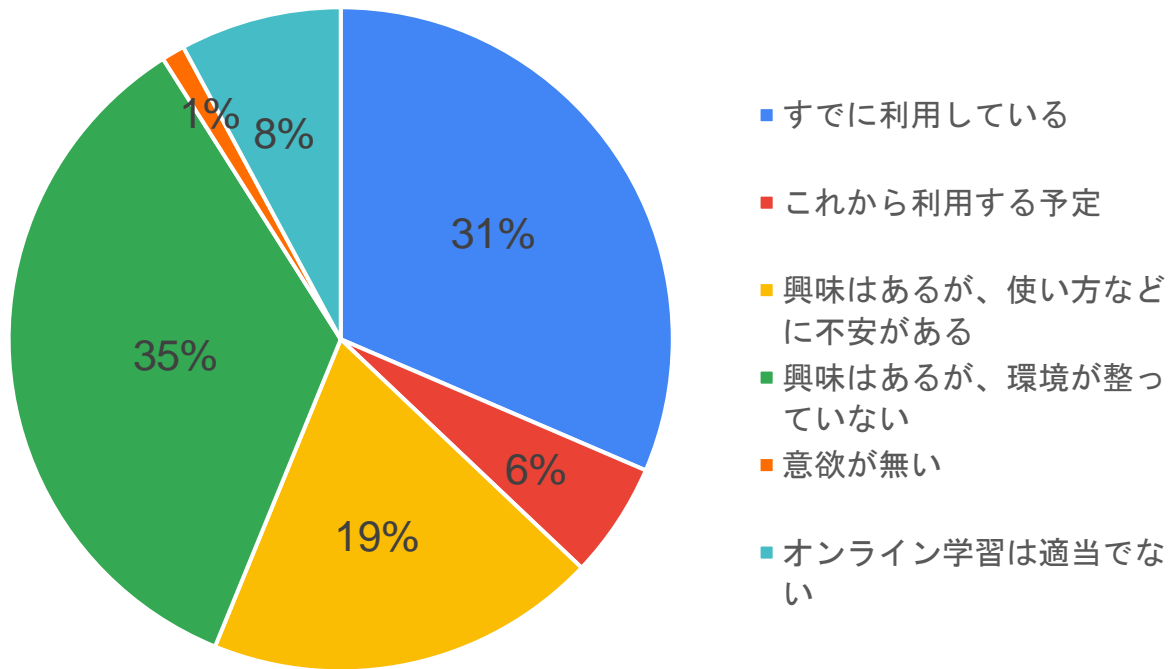
- ・月1回程度電話して近況報告や健康状態や給付金記入について話した。
- ・Wechat のテレビ電話で、再開延期、給付金について、会話した。
- ・知人を介して連絡してもらった。新学年度が始まる前に、数学と英語の「教科書ガイド」を渡し使用方法を説明した。持っていないと言う事だったので、後日、国語辞典・英和辞典他、数種類の辞書類も渡した。
- ・メールで近況を尋ねたり、給付金の受け取りの件などを連絡

●連絡をとれなかった方：理由

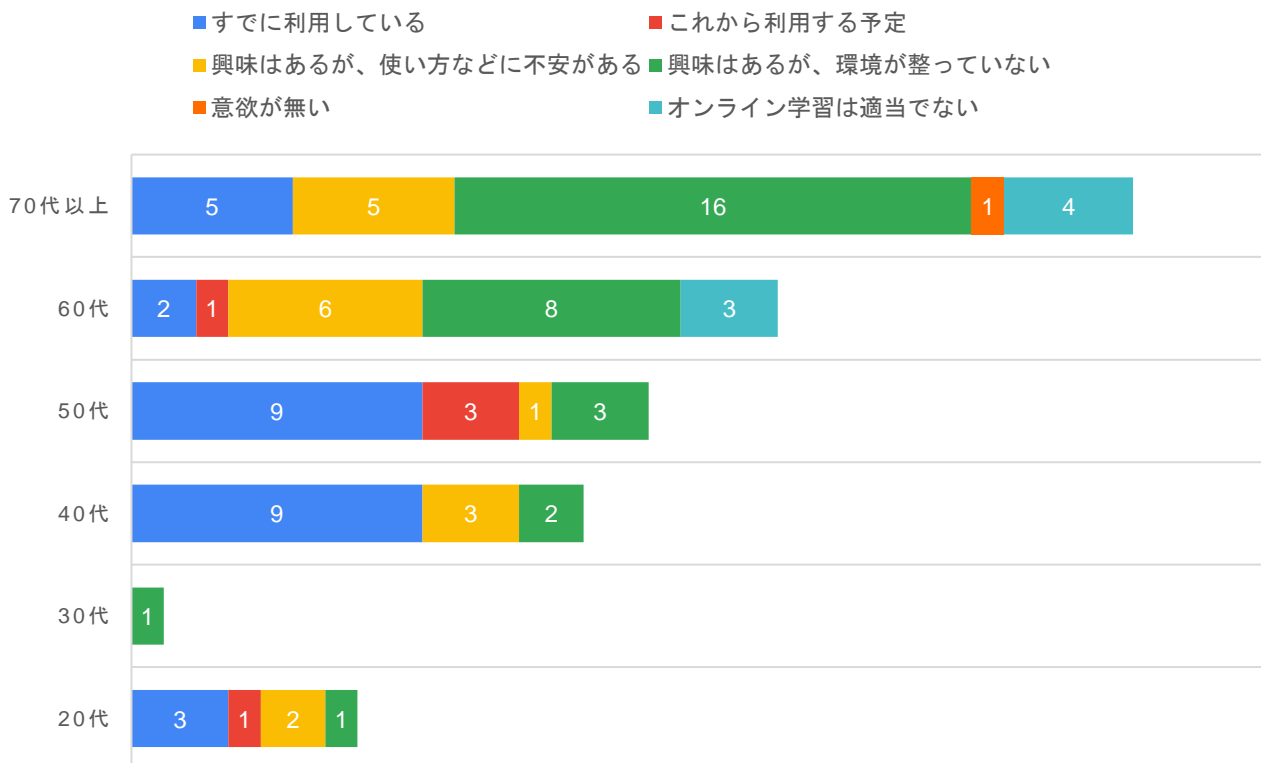
- ・SMS で状況を訪ねたが返信なし
- ・担当して日が浅く関係が薄かった
- ・学習者が国に帰られたため、連絡は取れませんでした。
- ・4月から新しい先生と交代する予定でしたが、コロナウィルスの件で引き継ぎが出来ず、そのままの状態になっています。
- ・しばらく会っていないので、元気かどうか手紙を出した。返事が無い
- ・学習場所が再開していなかったから。3月から全く連絡していません。
- ・対面学習のための場所がないため
- ・4月末に電話をしましたが、その後は、保護者が日本人であることと、子ども人の世話で忙しいだろうと思い、連絡していません。
- ・コロナの影響で、勉強が出来ないことをラインで連絡をしましたが、既読になりません。ユッカの会からいただいたメッセージを郵送しましたが、その後も連絡をとれていません。
- ・中学生だったため、連絡がとれなかった
- ・連絡はしたが勉強継続方法がないため中断している。
- ・学習者のご主人から春節にあわせて帰省したまま、まだ中国から戻っていないと連絡がありました。
- ・まだ一回も会えていない。
- ・学習者の連絡先を知らなかった。

【3】 オンライン学習について

オンライン学習について（回答数 89）



オンライン学習について（年代別）



<オンライン学習についての自由記述>

- ・学習能力、日本語能力の高くない子供のオンライン学習では、細かいところまで理解してもらうことは難しいと思う。やはり、対面式で手取り教えたい。
- ・会場までの往復時間を省けるので便利。別件で ZOOM 会議・授業に参加した。面談するようには行かないにしても、十分学習できる System なので、今後は相手の環境が整っている限り活用していきたい。
- ・私が担当している方々は、単なる学習以上のふれあいのようなものを求めておられると思うので、今のところ、オンライン学習をする予定はありません。
- ・ ZOOM を使える環境は準備しました。学習者から積極的な要望があるわけではない。
- ・日本語学習の場合はオンラインで可能と思われるが、教科補助の場合は困難さが残る。
- ・【良いところ】時間的に自由度が高く、都合が付きやすい。移動時間が無いのは便利。日本語能力が高い学習者との会話練習や情報交換に良い。【良くないところ】日本語学習の初心者には細かな指導が難しい。教材の活用方法などに指導者自身のスキルが問われる。長時間のビデオ視聴は目が疲れる。相手の顔ばかり見ている、非言語での情報伝達が難しい。対面での学習を基本として、それを補完する道具としてビデオ通話を活用する。例えば対面で学習したことを「Skyp でおさらい」というような感じが良いと思う。
- ・ビデオ通話はネットの状況によって度々切れてしまい、音声のみに変更した。対面の時は表情でコミュニケーションをとっていた部分、相手の反応を確認していた部分もあるので音声のみだと意思疎通のハードルがかなり高くなり、こちら側の工夫が必要になる。特に発音の訂正は難しいと感じた。オンライン後に気になった箇所、ポイントをやさしい日本語で文字におこして送信など、効果的な方法を模索中。
- ・日本語学習はオンラインで問題なく進められます。ただし、3 回に 1 回は対面での学習が必要だと思います。今の時期、対面とオンラインを交互に使って学習するのも良いかもしれません。
- ・指導の仕方が分からないので、やはり対面学習をしたい。
- ・仕事では利用している。対面で学習している人との学習を一部オンライン化するのは、移動時間・交通費等の点からは双方に負担減になるが、対面だからこそできることも多い。手段を複数持っておくことは今後役に立つと思う。学習の場合、双方の手元に同じ教材がなければ準備する側の負担が増えたり、学習したことが残らなかったりとマイナス面がある。個人的にオンラインを利用するにあたっては、トラブルが起きたときの対処法を十分知らない、料金体系等の違いで気づかないで相手に負担をかけてしまわないかなど 不安がある。
- ・私はスカイプですが家庭環境でそれぞれ設定難しいようです。
- ・実際に字を書いて説明するのに不便
- ・学校教育や学習塾の運営においては有効かと思うが、ユッカの会の趣旨である共に学ぶことはオンラインではできないと思う。実際に 6 月からの対面の勉強において、「これがわからなかったのか！」と気付かされたことがあります。特に学力の低い学習者には不向きと思う。
- ・Zoom 使用に安全性で不安な情報があり、色々教えて下さい。
- ・やり方を教えて頂ければ可能。
- ・自分が担当している成人学習者には現実的ではないと思う。本人も望まない。中学生には可能性ある

が、塾にも通っており週一回の私との機会にネットではどうかと思う。

- ・今後も同じようなことが起こる可能性はあるのでオンライン学習の必要性はあるだろうと思ってます。
今の私の学習者はかなり日本語レベルも高く、多岐に亘って日本や世界の状況や文化を知りたいと言う意欲が強い人達ですので、相対で様々な意見交換をすることを楽しんでいる風もありますから、これはこれで良いのかなと思ってます。
- ・意欲がない
- ・とても興味はありますが、なかなかお互いタイミングがとるのが難しいと思います。
- ・学習者が小学生なので、保護者の協力が必要。(保護者が不在の場合でも可能か、ネット環境など)
- ・語学を教える上でお互いの口元を見ることはとても大切だと思うので、マスクをして対面でやるよりも、安全だしいのかなと思う。その反面、分からないことを紙に書いて話すにはタイムラグがあってテンポは悪くなりそうだなと思う。
- ・私自身は使用して支援したいが学習者(成人の方)はオンラインの環境がないため、難しい。
- ・学習者側の環境が整っているか不明
- ・画面が小さく、資料が良く見えない。別カメラがつけると良い。
- ・学習者の環境を整えば即取り組みたい。環境整備を考えたい。
- ・学習してみます。どうぞよろしく
- ・現地までの交通費と時間の節約になり、21:00~のような遅い時間も対応できるので、会社員には良い。
手軽感満載なだけに、継続率は高い気がする。
- ・対面の方がやりやすい
- ・音声に多少問題はあるものの、抵抗はない。対面より集中し疲れる気がするので、短時間にするか、休憩時間が必要かも。時間の融通がつきやすいので、振替や追加などがしやすい。家でやる場合、お互いの家族や家の様子がわかることがあるので、楽しい話題が増える。(子どもたちが登場したり)
- ・環境のない家庭への整備が課題
- ・このような状況でも学習者の方との交流ができるオンラインはとても画期的で良いが、算数で難しい問題を教える時に、どうしても言葉だけでは伝わらず、難しかった。
- ・条件、状況が整えば可能だが 今はフェースツーフェースでの学習で良いと思う。
- ・他の活動でも使うので、オンラインのやり方について習うつもりでいますが、まだ始めていません。
- ・中断が長くなりそうだったので、オンラインで行おうと思い、学習者の意向を聞いたところ、検討したが無理であるという回答があったので、その後、勧めていない。パソコンを保有していないようなので、困難かもしれないと思った。スマホでもできるが、使用した場合の料金の増加がどの程度になるのか分からなかったので、それ以上勧められなかった。
- ・環境が整っていれば有効な交流手段だと思えます
- ・時々聞こえなかったり、画像が乱れたり不具合が発生するが、教科書を手に入れたので、電話に切り替えてでも可能。
- ・学習者がオンラインの環境にない。
- ・これからぜひ利用してみたいです。ズームは利用した事がないので、近々テストしてみます。
- ・相手の方の自宅の Wi-Fi 状況がわからないし、日本語はかなりできる方なので会場が安心して利用できるようになるまで待っている。

- ・学習者のオンライン環境が整っていれば、補助の機能として併用したい。学習者によっては配偶者に学習の理解が低く自宅学習がしにくい人もいます。
- ・現状では環境も整っていないので、難しいと考えています。
- ・家族が側にいるのでやりにくい
- ・現状の仕事が LW になり、一日中パソコンに向かいながら、学習もオンラインとなると、疲労が重くなりそうです。
- ・できればやりたいが、海外とオンライン学習ができるのかよくわからない。
- ・私としてはオンラインで支援したいが、学習者のインターネット環境に制約があり、実現できていない。
- ・移動時間等の制約がなくなるので、活用していけたらと思う。ただ、超初級の学習者さんには難しいかと思います。
- ・私自身はパソコンに強くなく、出来る自信はありませんが、現在の状況で学習場所がなければ、オンライン学習で進めていくのはいいと思います。今の時期では、学習は行うのは難しいと思いました。私の担当している生徒さんは、もともと勉強も日本語もできており、急いで補習する必要はないのかなと思いました。高校が再開して宿題などで困れば、オンライン学習なども検討できたらいいと思います。
- ・やったことがないのでオンラインができるか分からない、自宅が映ることに抵抗がある、学習者のテキストを基に学習を進めているので、オンラインで行うにはこちらもテキストの購入が必要、等の理由から億劫。
- ・国語（日本語）の場合、オンラインでは話せないような小さな言葉でも、しっかり聞き取り、意味の違い等をきちんと教えてあげたいので、オンラインでは不十分と思われます。ただし、私自身はオンラインをやる知識も機材もないので、この形はパスします。
- ・したくありません。
- ・子供の側で様子を見ながら教えていく方が良いかなと思っています。
- ・今は自分自身が生徒の立場で、模擬授業を体験している状態で、不慣れではありますが、チャレンジしてみたいです。
- ・学習者が望めば利用してもよいと思っています
- ・使い方というよりは、指導方法が従来の仕方で上手くいくか分からない。教材の示し方や板書など。
- ・必要とあれば利用ができると思う。
- ・パソコンを使いこなせない
- ・受講者が高齢のため、環境がととのっていない。使うのは無理だと思う。
- ・学習者に zoom は難しいのでは？スマートフォンを持っていない学習者は門前払いになる。学習者もそこまでして、勉強したいとは思わないだろう。通信の不具合があったときに、誰が学習者へ設定の説明をするのか？理解できるのは、一部の優秀な学習者に限られると思う。
- ・実際に会うより気軽に取り組めるので良いと思う
- ・非常勤講師の仕事をしており、オンラインでの授業を行っています。移動の必要がなく、便利です。
- ・現在、自身の学習用にオンラインを使用しています。教室へ通う時間や交通費を節約できる効率的なツールであると思います。特に、一对一の学習の場合、指導者が場所やホワイトボードを確保する必要

はなく、オンラインで充分指導が可能かと思います。ただし、学習者の環境の確認は必要です。例えば、パソコンがなく、スマホでの学習の場合、お互いが同じ教科書を持つ必要があります。画面上、教科書や資料が見つらいかもしれません。また、教師が生徒のノートを間近に確認することは難しいです。一長一短がありますが、これからのデジタル時代に向けて、オンラインの導入は必須かと考えます。

- ・得意ではありませんが、何回か経験しています。学校が休みで、まったく家にとじこもっているしかない場合、オンラインでも「定期的につながる」というのは「楽しみ」になるし、有用だもと思っています。ただ子ども（小中学生）の場合、オンラインと言っても「スマホ」が多く、しかもネット環境が不安定だったり、隣の部屋から生活音（会話・テレビ・赤ちゃんの声など）が聞こえたりなどしてお互いに「集中しづらい」ことも多々ありました。オンラインにするなら、「何をするか」もさることながら、まずその「環境」をきちんと把握した上でやらなければ、せっかくの「つながり」が生かせません。「いきなり発車」でなく、丁寧な「準備」が必要だと思いました。
- ・対面での会話の方が私は望ましいが、オンラインも提案したが反応なかった。
- ・オンライン学習は良いと思いますが、全部オンラインにしてしまうのはどうかと思います。
- ・数学などは対面でないと教えるのは難しいと思います。
- ・まだ活動前の状態で休止になったので、何とも言えません。使ったことがないので不安もありますが、相手次第で必要を感じたら、利用できるようにと思います。
- ・オンライン利用者は経済的に恵まれた生徒となるのではないのでしょうか
- ・可能な範囲で活用していきたい
- ・現在は担当がありませんが、ニーズがあれば、対応いたします。
- ・オンラインは在宅勤務時に使用しており環境の問題ないが、オンライン学習は、You tube などにアップしてその授業を使えば良いと思う。
- ・現在、担当は持っていませんが、私にとってオンラインの方が時間が作りやすいです。
- ・一つのツールとして多様な活用方法、可能性があると思います。対面を大事にしつつ、様々な形を工夫して双方にとって良い方法を探しながら、つながり続けられること、だれもが孤立しないことが大事だなーと思います。顔が見えて、声が聴けて、良かったな、元気が出たな、と思えるために、そこから、日本語頑張ろう、勉強頑張ろう、と思えたら。

●その他自由記述から

- ・学習時には、結構上手に日本語を話すことが出来ているが、電話での会話は、難しく感じた。今も連絡を入れてみたが、電話には出ませんでした。
- ・便利だが、通話直前まで寝ていたり、集中力は低いと思います。
- ・今対面式学習は互いの安全面で不安があり、活動再開後ボランティアを辞退させていただこうかと悩んでいます。
- ・6月から対面で学習をしています。楽しそうに通っています。会としても新型コロナとの共生下での予防しながらの活動を考える必要あり。
- ・学習者さんはみなさん元気です。
- ・相手との個別の事情（特に相手のニーズ、当方の希望など）に応じて個別に打ち合わせていくのがよいと思う。
- ・戸塚フォーラムの活動交流コーナーは来月（7月）の開放も未定とのことで、そこで学習が出来ない状況が続くようでしたら、別途場所を考える必要もあろうかと思っています。会としてはどう考えているのか？
- ・7月から仕事を始めた学習者は、不定期にただ会って元気の確認で終わると思う。（色々問題を抱えているので、つながりはきれない）本人も話をしたが。もう一人の学習者は、はたしていつから安心して対面での学習をはじめられるか、不安。一応8月まで休みになっている、ほとんど進んでいないので心苦しい。
- ・学習者さんがどうしているか心配ですが、再開するのも相手との距離が近いので不安です。
- ・担当の学習者は二人ともコロナ禍にありながら、自分や家族の気持ちをコントロールしてよく乗り越えていたと思います。元気にしていました。
- ・児童が学習場所へ移動中に事故に会った時の補償を事前に周知しておいてもらった方がよいと思います。
- ・ご本人が元気な様子なので安心してはいますが、これからの学習のやり方に不安です
- ・本当に熱心な方で、こちらもやり甲斐があり、事前準備も楽しいです。理想的なボランティア活動が出来ていて、有り難い限りです。7月のN2試験はなくなりましたか、12月に向けて、ゆとりを持った学者ができています。
- ・担当の学習者さんは、日本企業勤務のご主人、インターナショナルスクールに通う娘さんがいて、情報源も多く、日々の暮らしにも特に心配はなさそうです。JLPTの7月の試験が中止になったので、緊張がすこしほぐれた感じになっています。
- ・新型コロナのために8月まで学習場所閉鎖の件で電話で話し、本人も納得、そのままになっています。出来ればオンラインでなく、直接教えたいです。大学進学を希望していますが、日本語の知識は中学生程度でかなりの努力が必要です。
- ・学習者は企業に勤務しているので、特別定額給付金の受給には問題ないと思われるが、これを機に連絡を試みる。学習再開日時は未定。
- ・早速学習者に連絡して、オンライン学習の意向を聞いてみます。
- ・学習者の家庭の事情により再開がいつになるか分からない。自分の状態が宙に浮いてしまった。一度退会したいと感じています。

- ・学習者さんが再開を待っていると聞いて、私も同感なので、お互い元気でいようねと LINE で話しました。
- ・大変な時期を乗り越え、またボランティア活動ができる日を心持ちにしています。スタッフの皆様のご健勝をお祈りしています。
- ・いつも有益な情報や、会報や教材の提供などありがとうございます。いつもありがとう
- ・はやく対面での活動が再開できればと思います。。
- ・学習者が中学生になり、部活などで忙しくなり会えなかった時もあった。
- ・いつもご連絡ありがとうございます。人との接触に制限がかかっている中で、何らかの形でつながっていることを嬉しく思います。運営委員の皆様にご心より感謝を申し上げます。
- ・学習者の保護者、技能実習生の学習者さん、仕事は続けられていますか？ 今後、ご要望があれば、対面でも日本語や学習支援を行うことは可能です。
- ・テレビ電話をしたら、化粧もなく、頭は真っ白で、なぜだかみんな太っていた。しかし、相変わらず元気な様子で安心した。
- ・いつも幅広い最新情報を回していただき、感謝しています。いろいろな準備、支え、本当にありがとうございます。
- ・住んでいる場所が遠くても オンラインだとそういう心配は解決できるので良いと思います
- ・利用可能な別会場の提案：駅から 10 徒歩 7~8 分です。この会議室は無料で 1 団体 2 時間単位で月 8 コマまで借りることができます。もしここまで来てもいいという学習者がいましたらここを活用することも可能だと思います。
- ・緊急事態宣言後に、一度ショートメールを送ってみましたが反応はありませんでした。携帯へお電話を...と思いながら今に至ります。一度ご連絡してみます。
- ・いつも、丁寧なご連絡をくださり、感謝申し上げます。コロナ禍の中でもそれぞれに可能な方法で、つながり方を工夫されているボランティアのみなさんが多数いることを、先日の zoom おしゃべり会でうかがい、感銘を受けております。担当の学習者はいませんが、何かがあったときに、お役に立てることを見つけられるようにしたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。
- ・コロナにより大変な状況ですが、新たなチャンスと考えて進めて行って欲しい。

以上